

◆ 安心・安全のまちをめざして ◆

交通安全のまとめ

令和2年版

(令和元年交通統計)



はじめに

令和元年の交通安全対策は、関係機関等をはじめ区民のみなさんのご協力を得て、積極的に事業を推進しました。

昨年中の全国の交通事故による死者は3, 215人で、最も多かった昭和45年(16, 765人)の5分の1以下に減少しました。負傷者数は461, 775人で、前年から64, 071人(約-10%)減少しました。

しかしながら、本区の交通事故件数は増加傾向にあります。特に自転車が関与する交通事故は981件(前年+25)で特別区ワースト1位を記録しました。

交通安全の基本は、「相手への思いやりと交通ルールの遵守、正しい交通マナー」の日々の実践です。

交通事故を無くすためには、交通安全対策はもとより区民一人ひとりが、交通安全を自らの問題として、考え行動する日々の積み重ねが大切です。

この「交通安全のまとめ」は、区内の交通事故実態と交通安全対策の現況をまとめたものです。人命尊重の立場で「交通事故のない、安全で安心して生活できるまちづくり」の参考にしていただければ幸いです。

本書の作成にあたり、各種資料の提供にご協力いただきましたみなさんに、厚くお礼申し上げます。

令和2年8月

土木部

目 次

I 江戸川区の交通環境

1 人口	1
2 道路の状況	1
3 自動車保有台数	2
4 運転免許保有者数	3

II 交通事故の概要

1 江戸川区の交通事故	
(1) 交通事故の概要	4
①10年間の事故状況と人口、車両数	4
(2) 死亡事故状況	5
(3) 月別事故発生状況	6
(4) 時間帯別事故発生状況	6
(5) 年齢層別事故発生状況	7
(6) 当事者別事故発生状況	7
(7) 車両側の違反	8
(8) 歩行者側の違反	8
(9) 子どもの交通事故	9
(10) 若年層の交通事故	10
(11) 熟年者の交通事故(60歳以上)	11
(12) 歩行者の交通事故	12
(13) 自転車の交通事故	13
(14) 二輪車の交通事故	14
2 東京都の交通事故	
(1) 10年間の交通事故発生状況	15
(2) 23区の交通事故発生状況	15
3 全国の交通事故	
(1) 10年間の交通事故状況	16
(2) 前年対比の交通事故状況	16
(3) 都道府県別交通事故発生状況	16

III 交通安全対策

1 交通安全対策の体系	17
2 交通安全対策の推進	18
(1) 江戸川区交通安全連絡協議会	18
(2) 交通安全担当者会議	18
(3) 交通安全協会への補助	18
3 道路交通環境等の整備	
(1) 道路の現況	18
(2) 道路環境の整備	19
(3) 交通安全施設の整備	19
(4) 交通規制の現況	19
(5) 違法駐車対策の推進	20
(6) 自転車対策	22
(7) 交通事故防止対策の要望処理状況	23
(8) 交通安全資器材の交付状況	23
(9) 交通安全教育の推進	23
4 交通安全教育の普及徹底と広報活動の充実	
(1) 交通安全教育の内容と体制	24
(2) 交通安全教育の基本と事業の推進状況	27
(3) 春・秋の全国交通安全運動	28

IV 交通事故救済業務

1 救急・救助活動等	
(1) 交通事故救急出動件数及び救護人員	29
(2) 応急救護知識、技術の講習会受講者数	29
2 交通事故相談の概要	
(1) 相談件数の年次別推移	30
(2) 月別相談件数	30
(3) 相談者の内訳	31
(4) 新規相談の内容(その1)	32
(5) 新規相談の内容(その2)	32
(6) 新規来室相談者の当事者別件数	32
3 区民交通傷害保険	
(1) 区民交通傷害保険の開始について	33
(2) 区民交通傷害保険チラシ	34

用語の意味

交通事故 ----- 道路交通法第2条第1項第1号に規定されている道路において、車両、路面電車及び列車（軌道車）の交通によって起こされた人の死亡、または負傷を伴った事故及び物的損害を伴った事故をいいます。

但し、本書においては特に注釈のあるものを除いて、区内三警察署（小松川・葛西・小岩）の人身事故のみを掲載しています。

人身事故 ----- 交通事故により人の死傷があったものをいいます。

死亡 ----- 交通事故発生から24時間以内に死亡したものをいいます。

重傷 ----- 交通事故により加療日数が30日以上の負傷をいいます。

軽傷 ----- 交通事故により加療日数が30日未満の負傷をいいます。

当事者 ----- 交通事故に関係したものをさし、車両が関係した事故の運転者については、運転中の車両を当事者といいます。

第1当事者 ----- 過失（違反）がより重いか、又は、過失（違反）が同程度の場合にあっては、被害がより小さい方の当事者をいいます。

第2当事者 ----- 過失（違反）がより軽いか、又は、過失（違反）が同程度の場合にあっては、被害がより大きい方の当事者をいいます。

歩行者の事故 ----- 歩行中の人のほか、路側に立っていた人、路上作業、路上遊戯中の者が関係した事故をいいます。

若年層の事故 ----- 中学校卒業（16歳）から25歳未満までの年齢層の者が、関係した事故をいいます。

熟年者の事故 ----- 年齢60歳以上の者が、関係した事故をいいます。

※ 円グラフの値（％）は、小数点以下四捨五入により合計が100（％）にならない場合があります。

また、他市区からの参入出があるため、警察三署から提出された数値の合計と異なる場合があります。

I 江戸川区の交通環境

1 人 口

江戸川区の人口は、令和2年1月1日現在700,079人(23区中第4位)で、前年より2,048人増加しました(外国人含む)。

区の住民基本台帳によると、年齢構成では、年少人口(0～14歳)は89,602人で12.8%(対人口比で23区中第5位)、生産年齢人口(15～64歳)は462,993人で66.1%(23区中第17位)、老年人口(65歳以上)は147,484人で21.0%(23区中第11位)です。30年中の出生数は5,907人で、23区中第3位です。

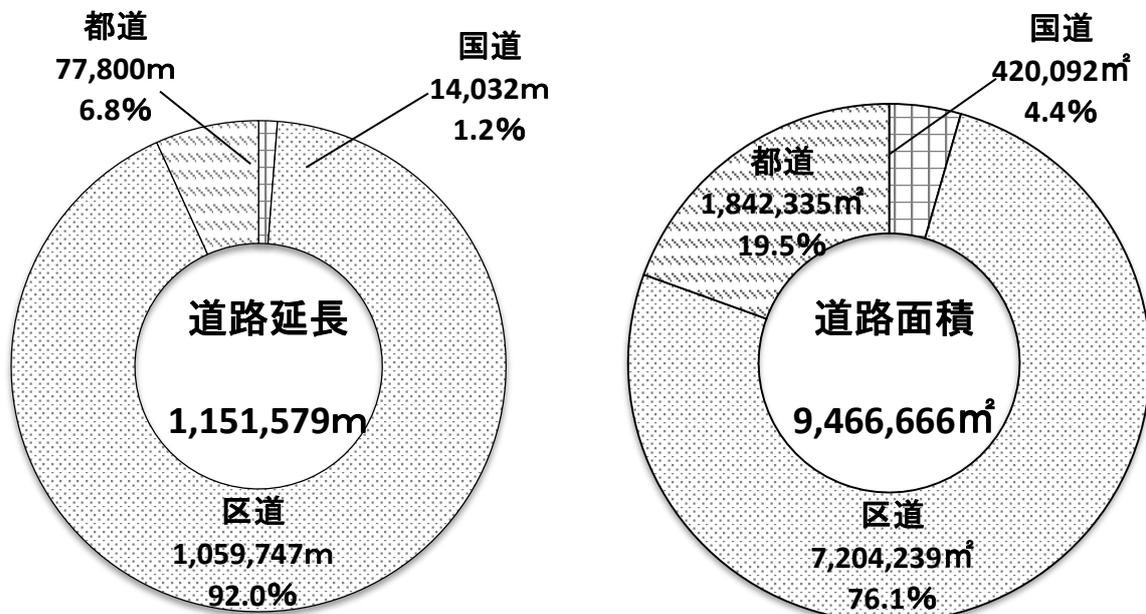
人 口	700,079人
	男性 352,944人 女性 347,135人
面 積	49.09km ²
人口密度	14,030人/km ²
平均年齢	43.83 歳

表＝区・住民基本台帳および都公式ホームページより

2 道路の状況

区内の道路延長は1,151,579mで、道路面積は9,466,666m²です。

区内面積のうち、道路が占める割合(道路率)は、19.0% で、特別区の平均16.5%を上回っています。



3 自動車保有台数

区内の自動車保有台数は、12年連続で減少しています。
構成率では、乗用車の61.1%、次いで二輪車の17.5%、貨物自動車の17.3%の順になっています。

《車種別車両保有台数の5年間の推移》

(台)

種 別 \ 年		27年	28年	29年	30年	令和元年	
総 数		254,453	253,871	252,706	251,803	251,334	
乗用車	普通・小型	133,644	133,192	133,192	132,901	132,339	
	軽 乗 用	19,533	20,352	20,755	21,134	21,120	
	乗 用 計	153,177	153,544	153,947	154,035	153,459	
	構 成 率	60.20%	60.48%	60.92%	61.17%	61.06%	
貨物自動車	普通・小型	31,581	31,596	31,647	31,515	31,549	
	軽 貨 物	11,692	11,812	11,794	11,915	11,907	
	三 輪 車	2	2	2	1	1	
	貨 物 計	43,275	43,410	43,443	43,431	43,457	
	構 成 率	17.01%	17.10%	17.19%	17.25%	17.29%	
二輪車	原付	50cc以下	20,334	19,214	18,228	17,228	17,282
		51~90cc	1,949	1,811	1,695	1,588	1,591
		91~125cc	9,647	9,802	9,877	9,951	9,974
	二輪車250cc	8,536	8,388	8,279	8,175	8,181	
	二輪車小型車	7,754	7,748	7,116	7,132	6,984	
	二 輪 計	48,220	46,963	45,195	44,074	44,012	
	構 成 率	18.95%	18.50%	17.88%	17.50%	17.51%	
特殊車・その他	バ ス		1,065	1,088	1,094	1,102	1,116
	特殊用途車		7,673	7,824	8,003	8,137	8,250
	小型	農 耕 用	95	98	92	89	109
	特殊	そ の 他	948	944	932	935	931
	特殊その他計		9,781	9,954	10,121	10,263	10,406
	構 成 率		3.84%	3.92%	4.01%	4.08%	4.14%

国土交通省関東運輸局市区町村別自動車保有車両数(各年3月末日現在)

統計江戸川(各年4月1日現在)

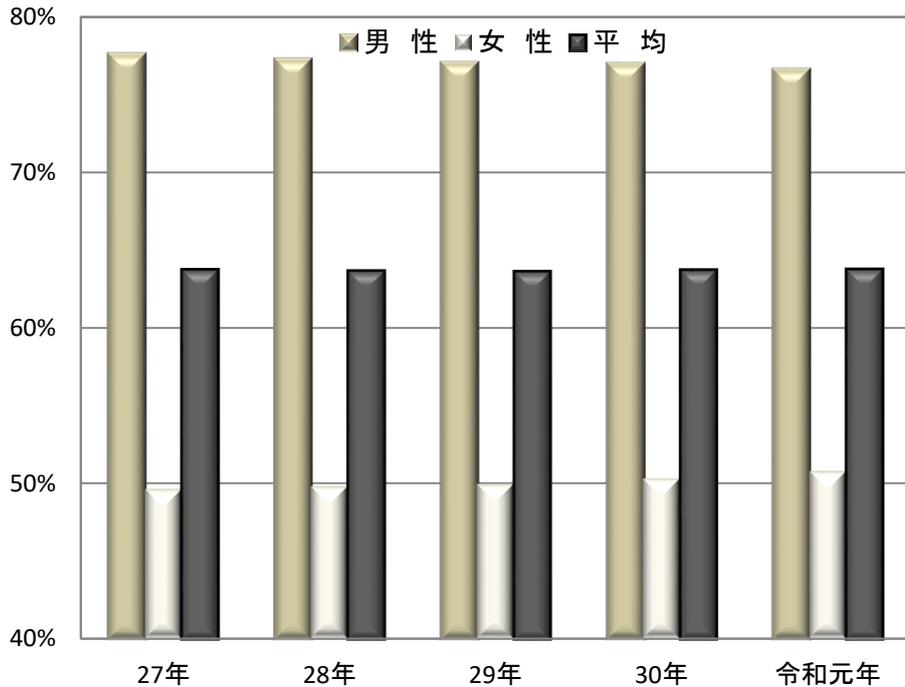
4 運転免許保有者数

《男女別免許保有者数》

項目	性別	27年	28年	29年	30年	令和元年
前年末免許保有者数	男性	229,857	231,188	232,113	232,960	233,033
	女性	144,281	146,243	148,050	150,194	152,429
	合計	374,138	377,431	380,163	383,154	385,462
16才以上人口(1月1日)	男性	296,136	299,131	301,161	302,559	304,087
	女性	290,794	293,718	296,386	298,631	300,249
	合計	586,930	592,849	597,547	601,190	604,336
免許保有率	男性	77.62%	77.29%	77.07%	77.00%	76.63%
	女性	49.62%	49.79%	49.95%	50.29%	50.77%
	平均	63.74%	63.66%	63.62%	63.73%	63.78%

警視庁交通年鑑、統計江戸川より

《16歳以上の人口に対する運転免許保有率》



Ⅱ 交通事故の概要

1 江戸川区の交通事故

(1) 交通事故の概要

令和元年中の交通事故は次のとおりです。

事故件数	1,697件	前年比	-98 件	(-5.5%)
死者数	5人	前年比	-6 人	(-54.5%)
重傷者数	140人	前年比	-15 人	(-6.3%)
軽傷者数	1,748人	前年比	-111 人	

警視庁提供交通事故統計資料より

① 10年間の事故状況と人口、車両数

区 年	事故件数(件)	死者数(人)	重傷者(人)	軽傷者数(人)	負傷者数(人)	区人口(人)	区車両数(台)
22年	2,124	14	10	2,420	2,430	680,469	262,874
23年	1,970	15	31	2,217	2,248	678,410	258,568
24年	1,799	10	11	2,030	2,041	675,325	256,031
25年	1,523	7	16	1,723	1,739	676,116	254,370
26年	1,265	9	10	1,470	1,480	680,262	252,426
27年	1,236	10	13	1,380	1,393	686,387	251,859
28年	1,189	6	15	1,347	1,362	691,514	252,113
29年	1,395	12	71	1,506	1,577	695,366	239,810
30年	1,795	11	155	1,859	2,014	698,031	251,218
令和 元年	1,697	5	140	1,748	1,888	700,079	249,603

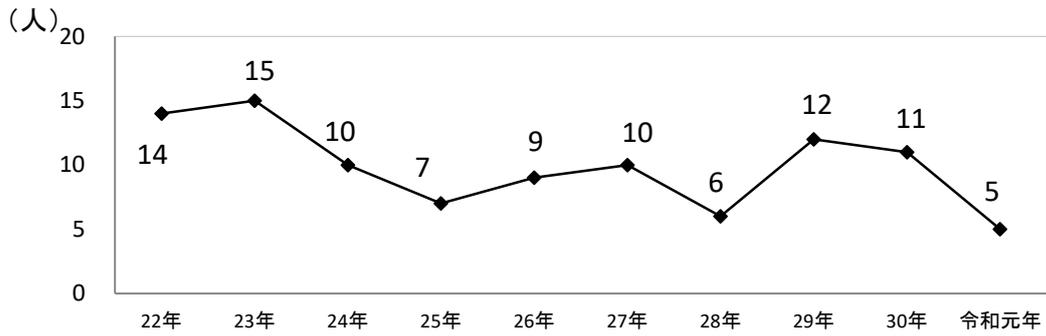
車両数は警視庁交通年鑑(平成30年版)より

※ 区人口は、翌年の1月1日現在(令和元年欄は令和2年1月1日現在)

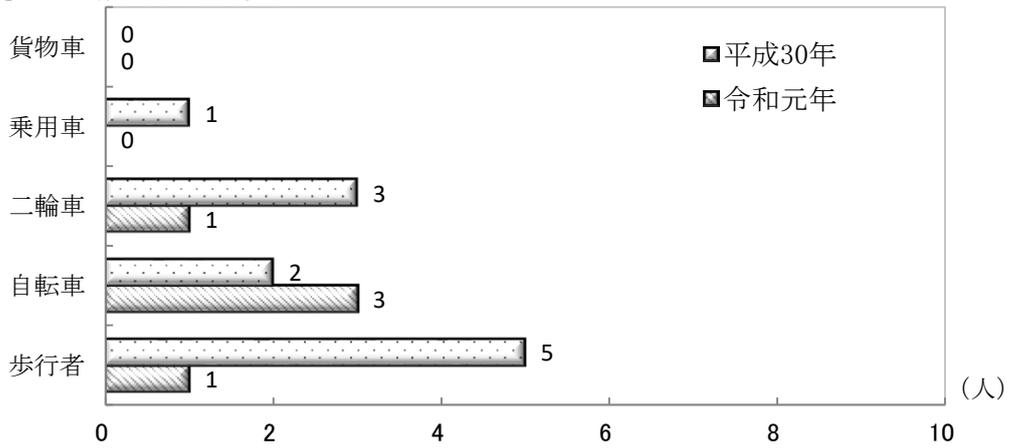
(2) 死亡事故状況

死者数5名のうち、自転車事故による死者数は3名と過半数を占めています。

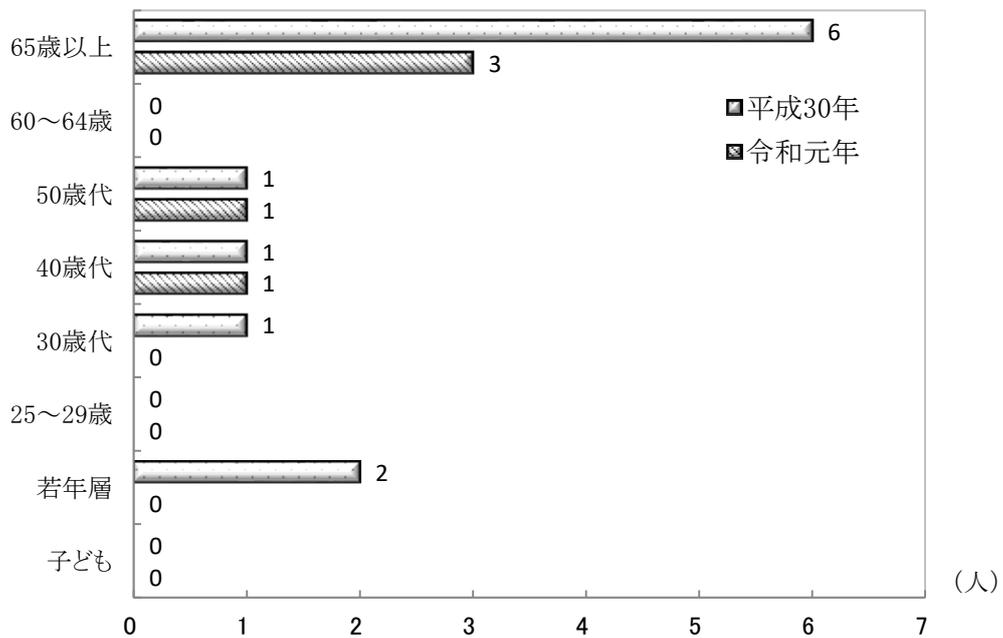
① 死者数年次推移



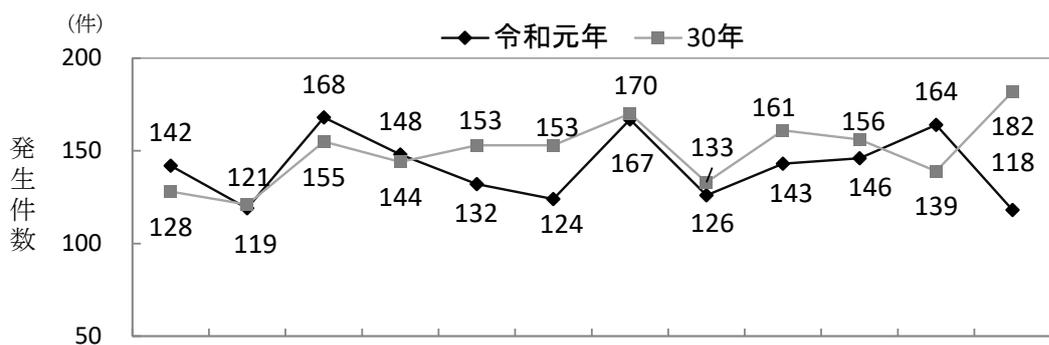
② 死者数当事者別状況



③ 死者数年齢層別状況

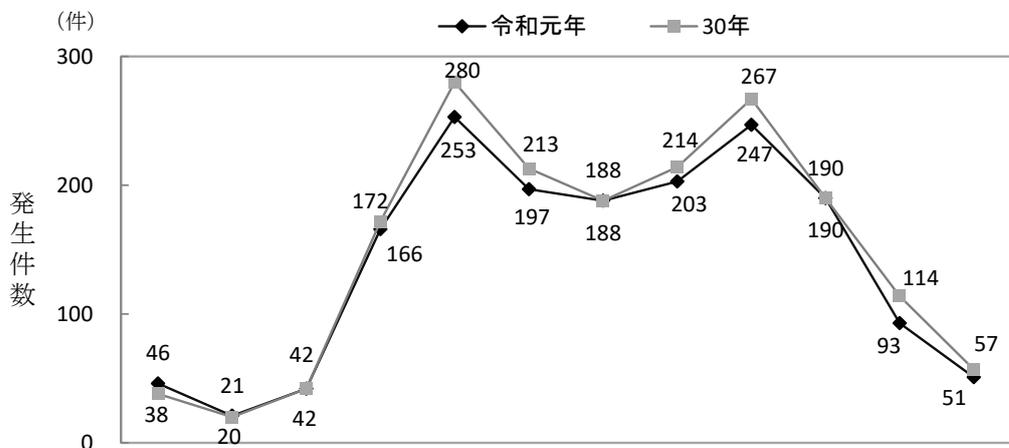


(3) 月別事故発生状況



区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
発生件数	142	119	168	148	132	124	167	126	143	146	164	118	1,697
死者数	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	0	5
重傷者数	5	13	9	16	6	7	8	12	14	8	9	6	113
軽傷者数	152	119	188	141	140	127	180	123	145	162	177	125	1,779

(4) 時間帯別事故発生状況

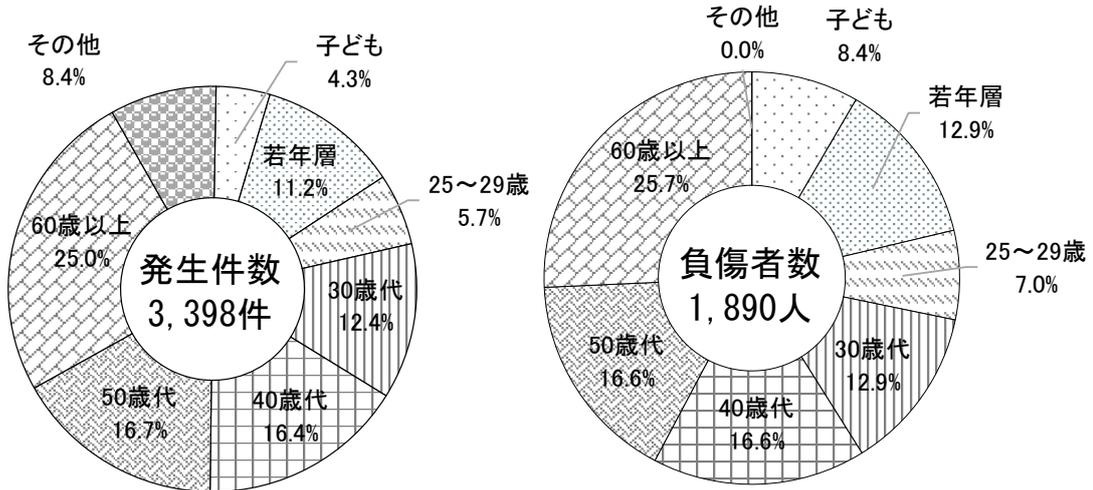


区分 \ 時間帯	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	合計
発生件数	46	21	42	166	253	197	188	203	247	190	93	51	1,697
死者数	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	5
重傷者数	7	5	12	21	11	13	15	15	12	18	9	2	140
軽傷者数	51	16	38	165	260	200	199	209	258	193	97	62	1,748

(昼夜別発生状況)

区分	昼			夜		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
令和元年	1,233	4	1,359	464	1	529
30年	1,294	6	1,445	501	5	569
増減数	-61	-2	-86	-37	-4	-40
増減率	-4.7%	-33.3%	-6.0%	-7.4%	-80.0%	-7.0%

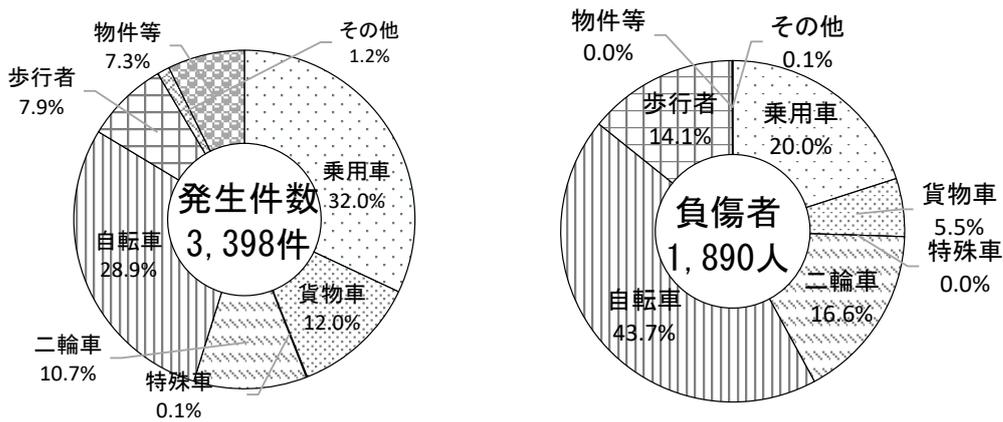
(5) 年齢層別事故発生状況



(人)

	子ども				若年層				25 ~ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	熟年者		そ の 他	合 計
	幼 園 児	小 学 生	中 学 生	小 計	高 校 生	16 ~ 19 歳	20 ~ 24 歳	小 計					60 ~ 64 歳	65 歳 以上		
発生件数	17	91	37	145	101	68	210	379	194	422	556	567	189	659	287	3,398
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	5
重傷者数	0	4	0	4	7	5	8	20	6	14	21	23	8	44	0	140
軽傷者数	38	93	23	154	71	36	117	224	126	229	293	290	79	355	0	1,750

(6) 当事者別事故発生状況

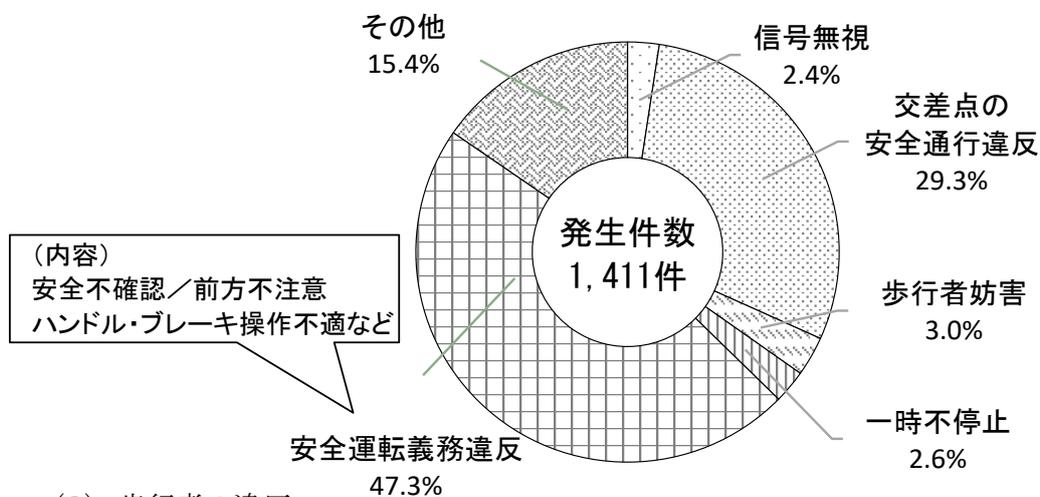


	乗 用 車	貨 物 車	特 殊 車	二 輪 車			自 転 車	歩 行 者	そ の 他	物 件 等	合 計
				自 動 二 輪	原 付	小 計					
発生件数	1,088	407	3	239	125	364	981	267	40	248	3,398
死者数	0	0	0	1	0	1	3	1	0	0	5
重傷者数	6	2	0	29	17	46	57	29	0	0	140
軽傷者数	372	102	0	188	80	268	769	238	1	0	1,750

(7) 車両側の違反

発生件数は前年の1,350件から302件(昨年比22.4%)増加し1,652件。
「安全運転義務違反」と「交差点の安全通行違反」が、発生件数の78.5%を占めています。

	信号無視	交差点の安全通行違反	歩行者妨害	一時不停止	安全運転義務違反	その他							合計
						最高速度違反	右折違反	左折違反	優先通行違反	徐行違反	酒酔い	その他	
発生件数	34	414	43	36	667	0	1	1	3	3	0	209	1,411
死者数	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	5
重傷者数	6	25	5	5	45	0	0	0	1	0	0	13	100
軽傷者数	38	325	39	37	683	0	2	1	1	2	0	197	1,325

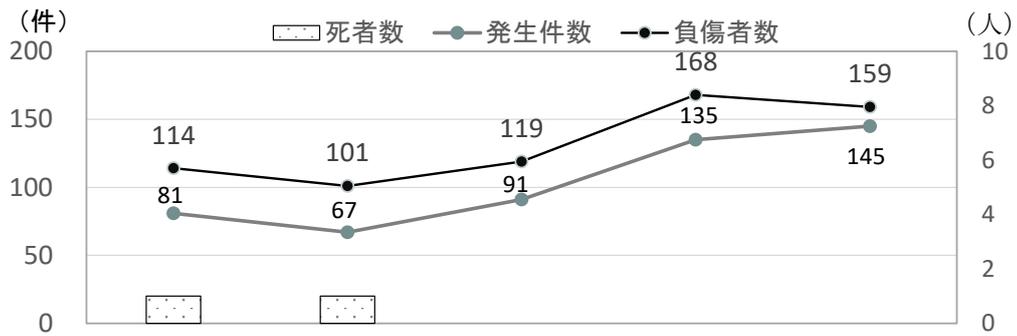


(8) 歩行者の違反

	信号無視	横断歩道外横断	横断禁止場所横断	その他横断違反	酩酊・徘徊	飛び出し	その他違反	違反なし	合計
発生件数	5	4	2	0	0	7	12	237	267
死者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1
重症者数	1	1	1	0	0	0	1	25	29
軽傷者数	4	3	1	0	0	6	11	213	238

(9) 子どもの交通事故(0歳から中学生まで)

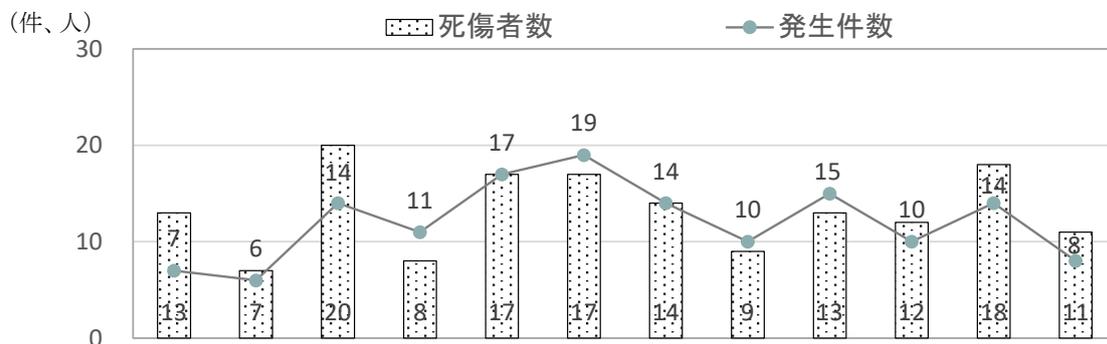
① 5年間における交通事故



	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	81	67	91	135	145
死者数	1	1	0	0	0
負傷者数	114	101	119	168	159

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

② 月別事故発生状況

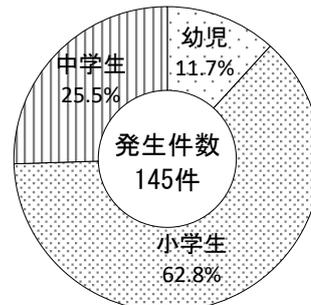


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	7	6	14	11	17	19	14	10	15	10	14	8	145
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重傷者数	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	4
軽傷者数	13	7	20	7	16	17	13	9	12	12	18	11	155

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

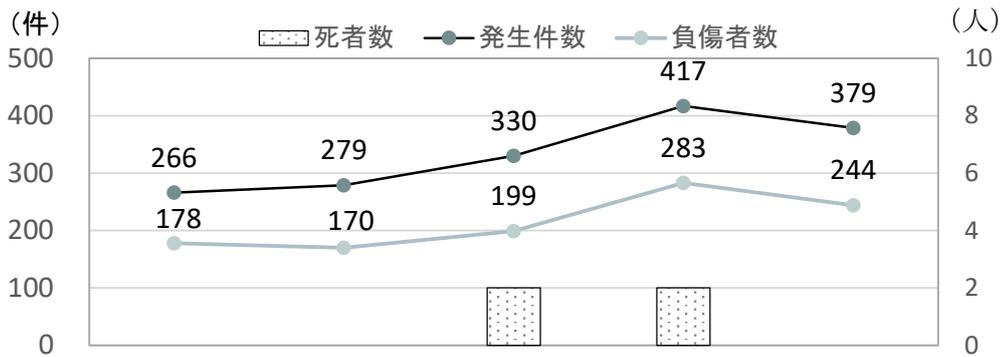
③ 年齢層別事故発生状況

	幼児	小学生	中学生	合計
発生件数	17	91	37	145
死者数	0	0	0	0
重傷者数	0	4	0	4
軽傷者数	38	93	23	154



(10) 若年層の交通事故(16歳から25歳未満)

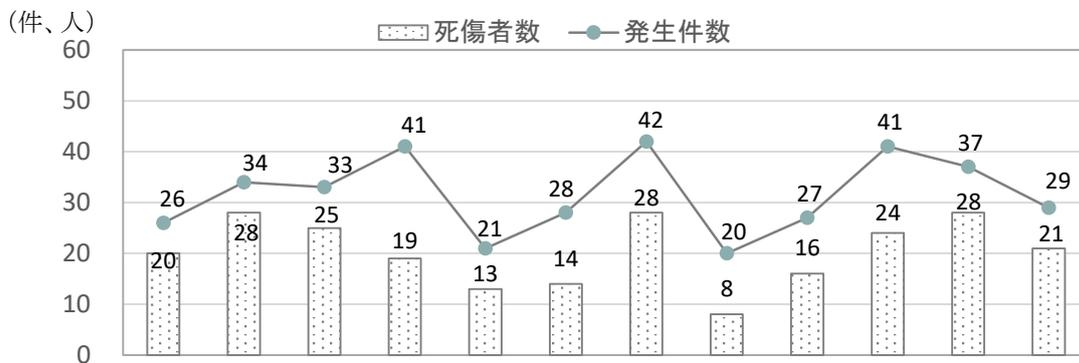
① 5年間に於ける交通事故



	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	266	279	330	417	379
死者数	0	0	2	2	0
負傷者数	178	170	199	283	244

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

② 月別事故発生状況

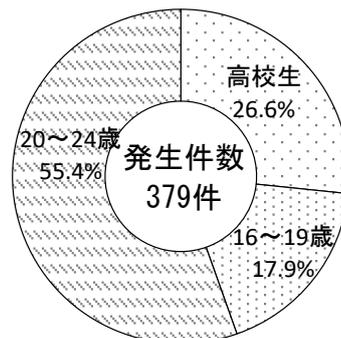


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	26	34	33	41	21	28	42	20	27	41	37	29	379
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重傷者数	0	3	2	3	0	0	0	0	4	2	2	1	17
軽傷者数	20	25	23	16	13	14	28	8	12	22	26	20	227

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

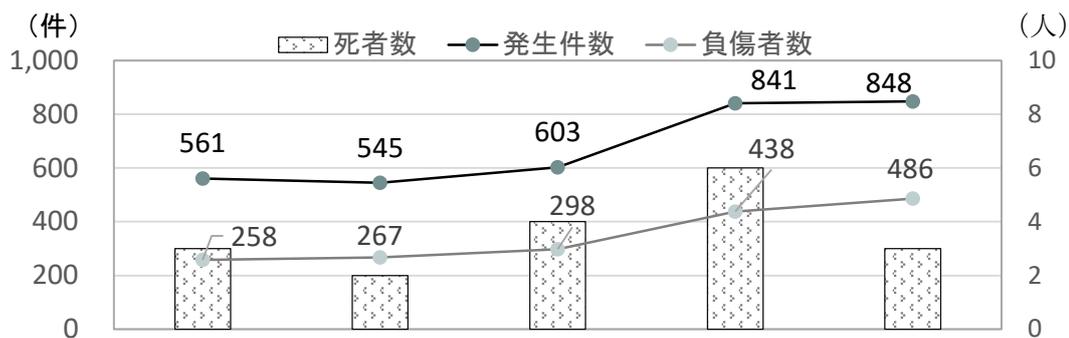
③ 年齢層別事故発生状況

	高校生	16～19歳	20～24歳	合計
発生件数	101	68	210	379
死者数	0	0	0	0
重傷者数	7	5	8	20
軽傷者数	71	36	117	224



(11) 熟年者の交通事故(60歳以上)

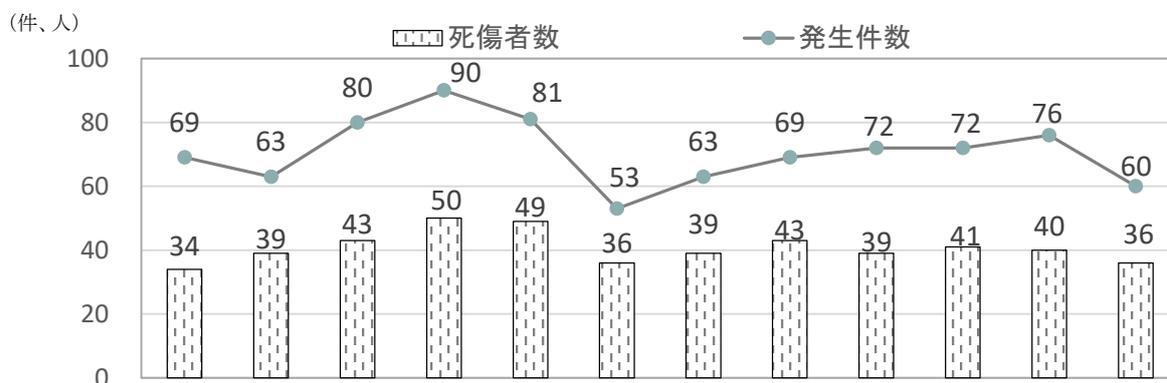
① 5年間における交通事故



	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	561	545	603	841	848
死者数	3	2	4	6	3
負傷者数	258	267	298	438	486

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

② 月別事故発生状況

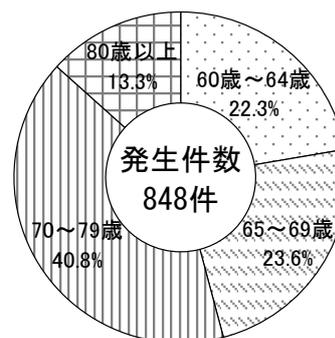


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	69	63	80	90	81	53	63	69	72	72	76	60	848
死者数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
重傷者数	2	6	2	8	3	2	3	2	4	2	2	0	36
軽傷者数	32	33	41	42	46	33	36	40	35	39	37	36	450

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

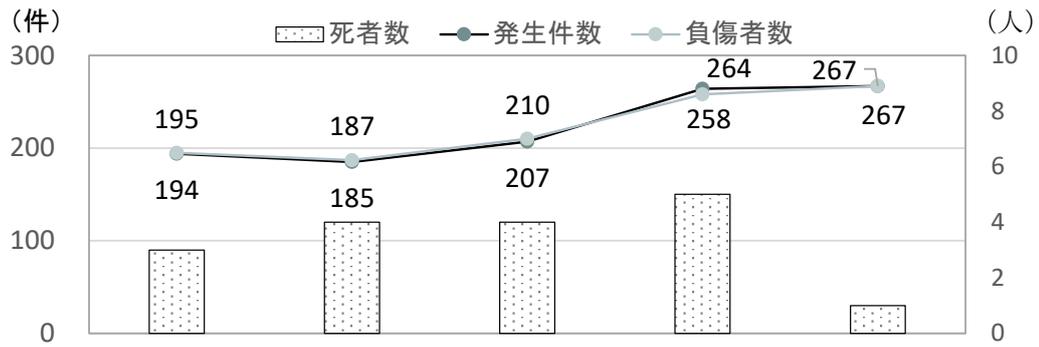
③ 年齢層別事故発生状況

	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
発生件数	189	200	346	113	848
死者数	0	0	1	2	3
重傷者数	8	9	24	11	52
軽傷者数	79	98	173	84	434



(12) 歩行者の交通事故

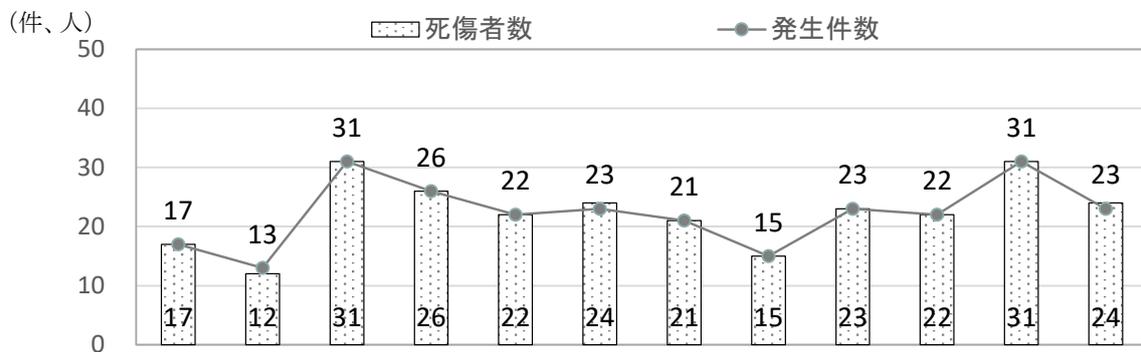
① 5年間に於ける交通事故



	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	194	185	207	264	267
死者数	3	4	4	5	1
負傷者数	195	187	210	258	267

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

② 月別事故発生状況

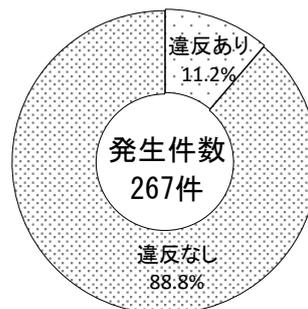


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	17	13	31	26	22	23	21	15	23	22	31	23	267
死者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
重傷者数	1	1	3	6	1	2	1	0	3	1	1	0	20
軽傷者数	16	11	28	20	21	22	19	15	20	21	30	24	247

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

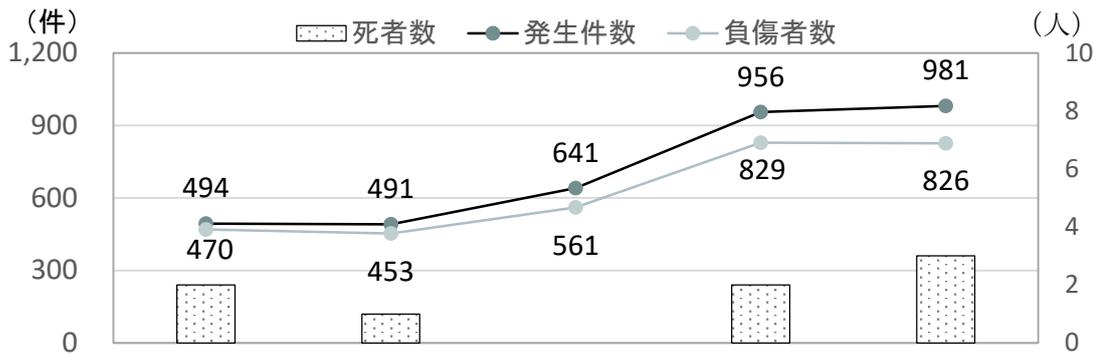
③ 歩行者違反内訳

	第1 当事者	第2 当事者	合計
違反あり	7	23	30
違反なし	0	237	237



(13) 自転車の交通事故

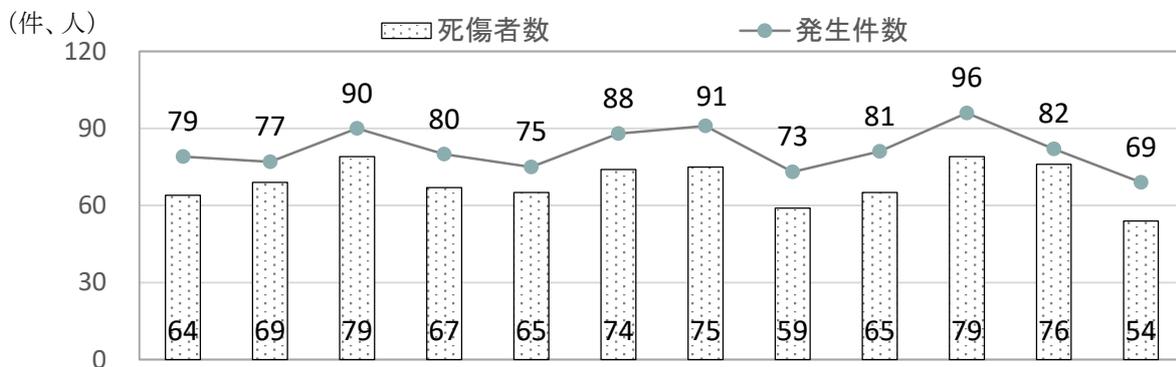
① 5年間に於ける交通事故



	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	494	491	641	956	981
死者数	2	1	0	2	3
負傷者数	470	453	561	829	826

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

② 月別事故発生状況

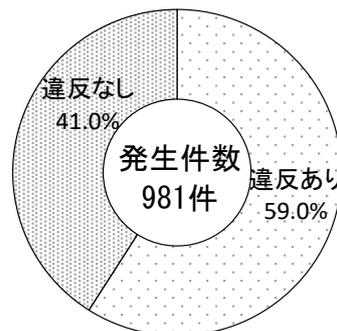


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	79	77	90	80	75	88	91	73	81	96	82	69	981
死者数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
重傷者数	2	9	2	4	3	2	2	5	6	3	2	2	42
軽傷者数	62	60	77	63	62	72	73	54	59	76	74	52	784

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

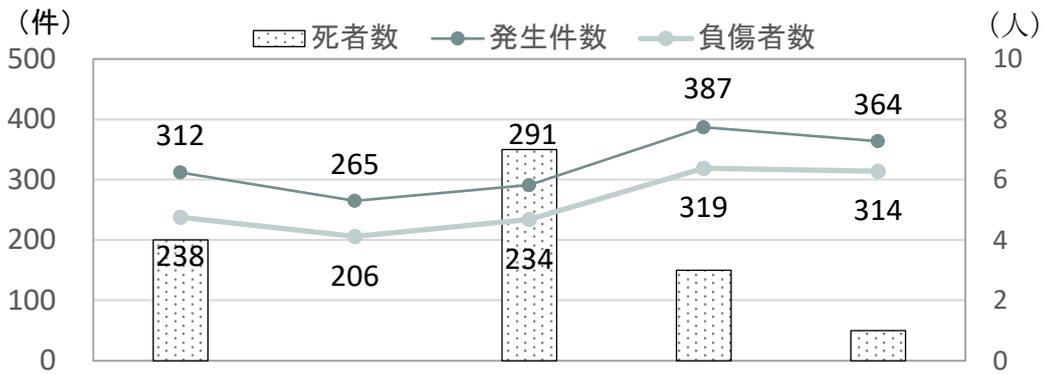
③ 自転車違反内訳

	第1 当事者	第2 当事者	合計
違反あり	395	184	579
違反なし	0	402	402



(14) 二輪車の交通事故

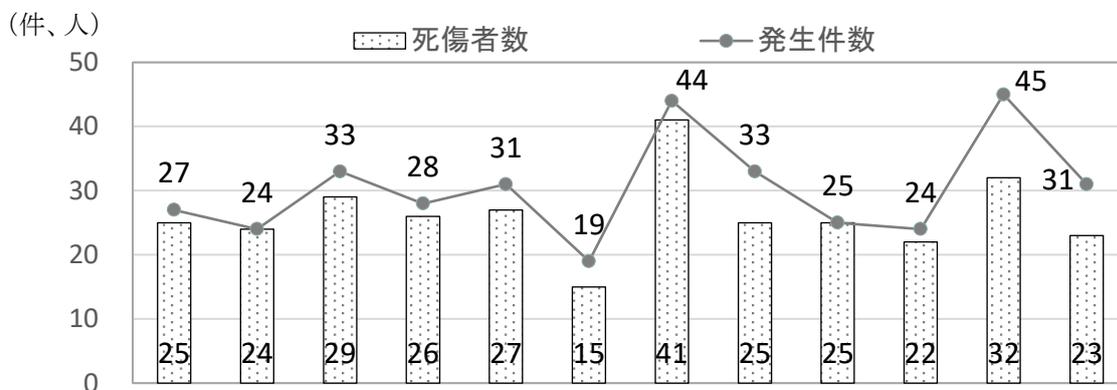
① 5年間における交通事故



	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	312	265	291	387	364
死者数	4	0	7	3	1
負傷者数	238	206	234	319	314

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

② 月別事故発生状況

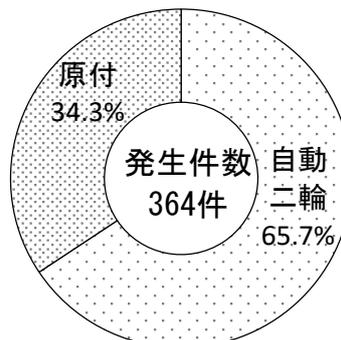


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	27	24	33	28	31	19	44	33	25	24	45	31	364
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
重傷者数	2	3	2	6	2	3	3	7	5	4	5	4	46
軽傷者数	23	21	27	20	25	12	38	18	20	18	27	19	268

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③ 種別事故発生状況

	自動二輪	原付	合計
発生件数	239	125	364
死者数	1	0	1
重傷者数	29	17	46
軽傷者数	188	80	268



2 東京都の交通事故

(1) 10年間の交通事故発生状況

近年、発生件数・負傷者数は減少傾向にあります。

令和元年の死者数は、前年より10人減少し、133人になりました。

	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
発生件数	55,013	51,477	47,429	42,041	37,184	34,274	32,412	32,763	32,590	30,467
死者数	215	215	183	168	172	161	159	164	143	133
負傷者数	62,128	58,140	54,837	48,855	43,212	39,931	37,828	37,994	37,443	34,777

東京の交通事故より

(2) 23区の交通事故発生状況

① 23区別交通事故発生状況(令和元年)

	発生件数	自転車 関与件数	関与率	死者数	重傷者数	軽傷者数	人口	自動車 保有台数
江戸川区	1,697	981	57.8%	5	140	1,748	700,079	249,603
千代田区	618	165	26.7%	4	18	680	65,942	38,423
中央区	822	300	36.5%	1	32	890	168,361	55,876
港区	1,256	391	31.1%	2	58	1,386	260,379	94,298
新宿区	720	211	29.3%	5	29	793	348,452	77,314
文京区	406	197	48.5%	2	17	438	226,114	44,869
台東区	714	353	49.4%	2	36	741	202,431	49,450
墨田区	442	197	44.6%	2	9	479	274,896	72,452
江東区	966	415	43.0%	8	48	1,079	521,835	150,412
品川区	767	286	37.3%	2	40	822	401,704	99,807
目黒区	462	207	44.8%	3	31	499	281,474	71,924
大田区	1,332	688	51.7%	7	59	1,420	734,493	224,117
世田谷区	1,940	892	46.0%	6	33	2,166	917,486	261,219
渋谷区	539	200	37.1%	1	17	585	229,671	68,008
中野区	681	435	63.9%	1	43	702	335,234	69,612
杉並区	1,062	496	46.7%	6	53	1,184	574,118	134,232
豊島区	549	240	43.7%	5	15	623	290,246	60,312
北区	494	242	49.0%	3	28	519	353,908	79,112
荒川区	348	240	69.0%	2	21	358	217,146	51,056
板橋区	948	422	44.5%	6	59	1,015	571,357	163,191
練馬区	1,174	611	52.0%	5	56	1,284	739,435	229,618
足立区	1,767	904	51.2%	8	81	1,889	691,298	279,714
葛飾区	780	389	49.9%	6	23	837	464,550	153,977
合計	20,484	9,462	46.2%	92	946	22,137	9,570,609	2,778,596

東京の交通事故より

② 23区別交通事故発生状況ワースト10

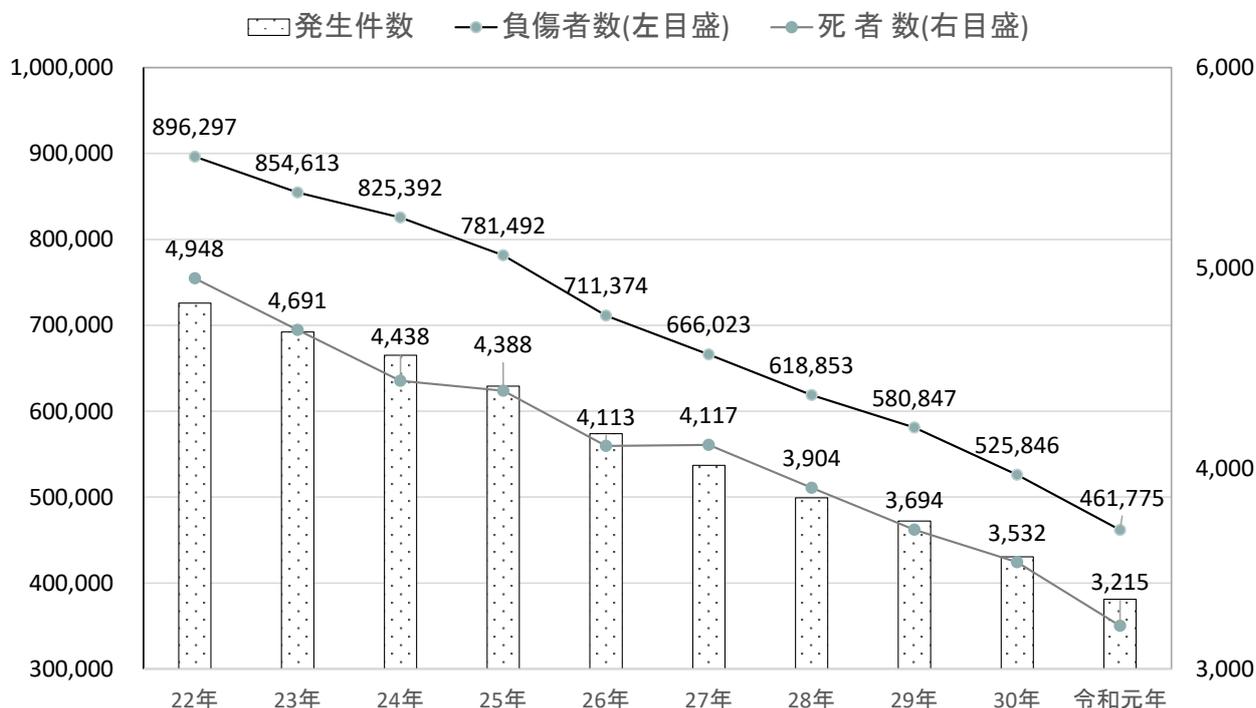
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
令和元年	世田谷 1,940	足立 1,767	江戸川 1,697	大田 1,332	港 1,256	練馬 1,174	杉並 1,062	江東 966	板橋 948	中央 822
30年	世田谷 2,052	江戸川 1,795	足立 1,738	大田 1,445	練馬 1,293	港 1,219	杉並 1,165	江東 1,038	板橋 1,023	葛飾 937
29年	世田谷 2,092	足立 1,714	江戸川 1,395	大田 1,348	練馬 1,337	港 1,261	杉並 1,184	板橋 1,100	江東 1,089	葛飾 886
28年	世田谷 1,932	足立 1,718	練馬 1,349	杉並 1,338	大田 1,279	江戸川 1,189	港 1,170	江東 1,170	板橋 1,097	葛飾 925
27年	世田谷 1,944	足立 1,857	大田 1,470	杉並 1,449	港 1,315	江東 1,281	練馬 1,238	江戸川 1,236	板橋 1,193	新宿 1,010

区市町村別各種交通事故発生状況(令和1年中)より
※高速隊等の本部扱いを除く

3 全国の交通事故

(1) 10年間の交通事故状況

令和元年の死者数は、3,215人で前年より317人減少しました。
 発生件数・負傷者数は15年連続して減少しており、それぞれ381,237件(-11.5%)、461,775人(-12.2%)と大きく減少しています。



(2) 前年対比の交通事故状況

発生件数・死者数・負傷者数ともに減少しています。

	30年	令和元年	増減数	増減率
発生件数(件)	430,601	381,237	-49,364	-11.5%
死者数(人)	3,532	3,215	-317	-9.0%
負傷者数(人)	525,846	461,775	-64,071	-12.2%

(3) 都道府県別交通事故発生状況

発生件数は、大阪府が最も多く、以下愛知県、東京都、福岡県、静岡県の順になっています。
 死者数は、千葉県が最も多く、以下愛知県、東京都、福岡県の順になっています(3位は北海道)。

	大阪	愛知	東京	福岡	静岡	神奈川	兵庫	埼玉	千葉	群馬
発生件数	30,914	30,836	30,467	26,936	25,102	23,294	22,896	21,359	16,476	11,831
死者数	130	156	133	98	101	132	138	129	172	61
負傷者数	36,664	37,011	34,777	35,077	32,491	27,392	27,501	25,704	19,904	14,845
発生件数の順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
死者数の順位	7	2	5	11	10	6	4	8	1	21

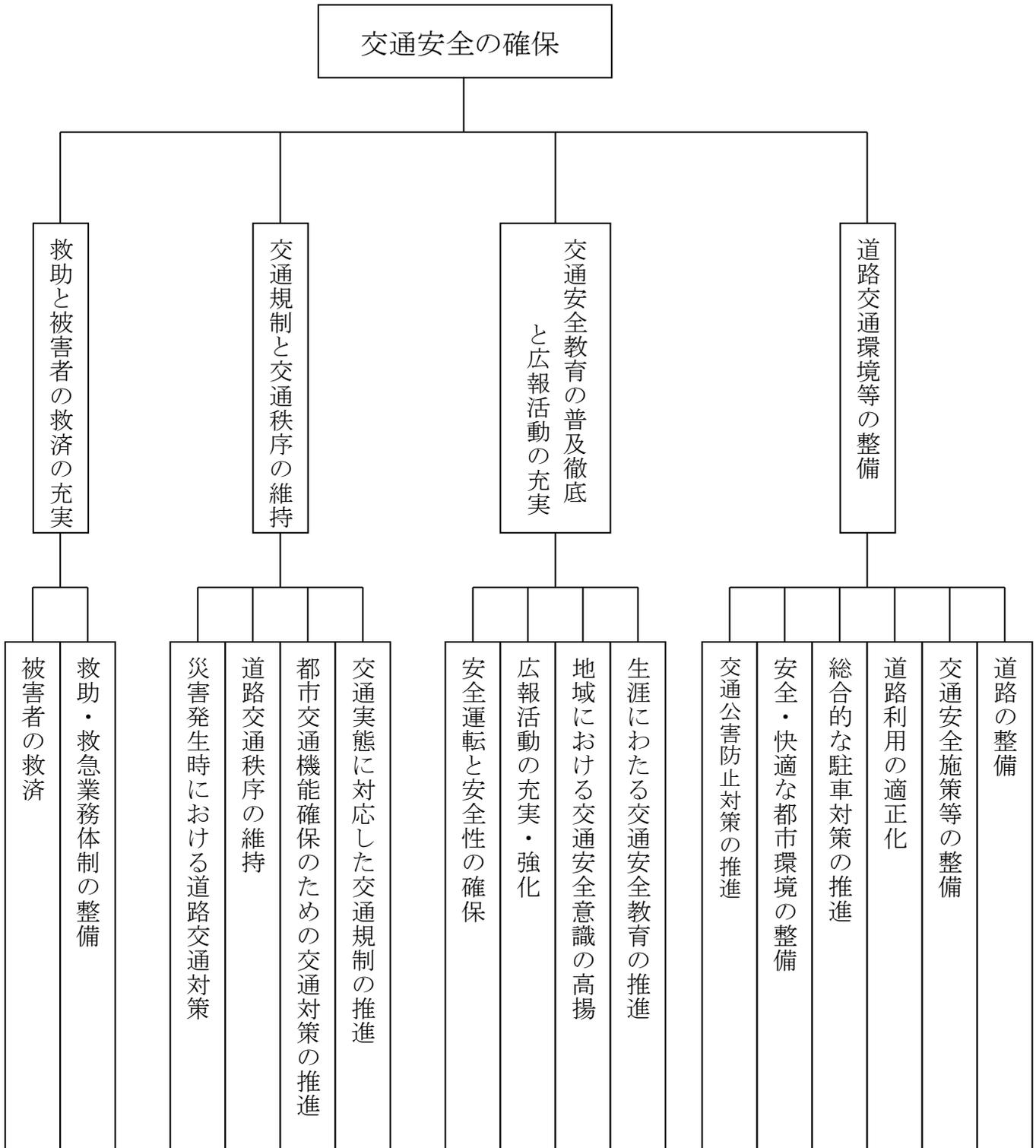
東京の交通事故より
 ※表は、発生件数順

III 交通安全对策

1 交通安全対策の体系

江戸川区は、第8次江戸川区交通安全計画（平成28～令和2年度）に基づき、関係機関相互の緊密な連携のもとに交通安全対策に取り組み、交通事故の防止に努めています。

《交通安全計画の体系図》



2 交通安全対策の推進

(1) 江戸川区交通安全連絡協議会

令和元年度の交通安全連絡協議会は開催しませんでした。

(2) 区内三警察署との連絡会議

5月29日（火）に実施し、区内交通事故の現状（管轄別）についての報告がありました。また、9月7日（土）の「区民の集い」に向け関係会議を実施しました。

(3) 交通安全協会への補助

小松川・葛西・小岩交通安全協会に対し、交通安全思想の普及徹底のために、補助金（各交通安全協会 1,200,000円）を交付しました。

3 道路交通環境等の整備

道路整備は、①安全で円滑な道路交通を確保するために広域幹線道路、地域幹線道路橋梁等の整備を推進する。

②歩行者の安全確保、やすらぎを感じる道路空間・質の向上を図る。

③安全で快適な道路にするために道路使用及び占用の抑制、不法物件等の排除、違法駐車・放置自転車対策の推進と交通安全施設を整備することを基本として進められています。

(1) 道路の現況

令和2年4月1日現在

種 別	延 長	面 積	管 理	備 考
国 道	11,007m	307478 m ²	国	
	3,025m	112,614 m ²	東日本 高速道路(株)	
都 道	61,680m	1,418,571 m ²	都	
	16,120m	423,764 m ²	首都高速 道路(株)	
区道（認定外含む）	1,059,747m	7,204,239 m ²	区	
合 計	1,151,579m	9,466,666 m ²	—————	—————

江戸川区土木施設現況調書より

(2) 道路環境の整備

令和2年4月1日現在

種 別	延 長	種 別	数 量
歩 道	426,115m	街 路 灯	34,336 基
自 転 車 道	96 路線 51,752m	ブリンカーライト	128 基
緑道（親水緑道含む）	71,393m	橋 梁 灯	217 基
河川溝渠転落防止柵	12,605m	歩行者用防護柵	234,920m

江戸川区土木施設現況調書より

(3) 交通安全施設の整備

令和2年4月1日現在

種 別	数 量	種 別	数 量	
道 路 標 識	2,513 本	交 差 点 改 良	5,727 箇所	
内 訳	警 戒 標 識	1,312 本	視 線 誘 導 標	4,956 本
	規 制 指 示 標 識	214 本	交差点表示板（内鈺）	1,614 個
	案 内 標 識	738 本	す べ り 止 め 舗 装	45,778 m ²
	道 路 愛 称 名 標 識	249 本	横断歩道橋（国道 5 都道 30 区道 11）	46 橋
カ ー ブ ミ ラ ー	2,886 本	人 道 橋（管理者江戸川区 8 江東区 2）	10 橋	

江戸川区土木施設現況調書より

(4) 交通規制の現況

令和2年4月1日現在

種 別	設 置 箇 所	延 長
交 通 信 号 機	760 基	—————
視覚障害者用信号機	（内数） 30 基	—————
一 時 停 止	7,071 箇所	—————
一 方 通 行	1,008 路線	270,140m
通 行 禁 止	452 路線	3,788,627m
歩 行 者 横 断 禁 止	21 路線	51,683m
自 転 車 歩 道 通 行 可	180 路線	195,549m
横 断 歩 道	6,167 箇所	—————

各警察署の現況届より

(5) 違法駐車対策の推進

平成4年10月に「江戸川区違法駐車等の防止に関する条例」を制定し、住民・警察等と一体となって違法駐車をなくす運動を推進しています。

- ① 江戸川区違法駐車防止連絡協議会（平成4年9月7日設置・77団体）
平成26年度より、総会は環境をよくする運動中央大会に移行しました。

② 違法駐車抑止気運の高揚策

- ア 環境をよくする地区大会に参加 令和元年5月18日～11月25日
東部、篠崎、小松川・平井、葛西、（中央、小岩は雨天中止）
イ 違法駐車防止パトロール 3地区 28回 328人参加
ウ 各地域イベント等でのPR 12回
エ 交通安全指導員によるパトロール のべ382回

③ パーキングメーターの設置状況

設置場所(4か所)	設置数(機)	
	令和2年	令和元年
(1)葛西中央通り	0	48
(2)葛西事務所西側道路	65	65
(3)東西線葛西駅北側	9	9
(4)平井5・6丁目	0	0
(5)東小岩（都道307号線）	20	20
合計	94	142

各年4月1日現在

※(1)葛西中央通りは、自転車通行帯設置のため撤去

④ 違法駐車状況

ア 瞬間違法駐車台数の推移（令和2年3月自治体別駐車概要より）

調査日時：令和元年10月28日（月）

時間帯：午後1時から5時までの間

調査区域：都内全域（島部を除く）の道幅4.5m以上の一般道

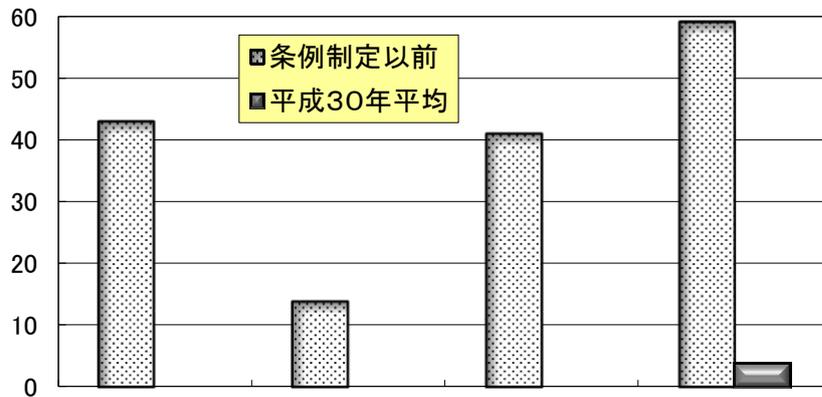
	違法駐車台数
令和元年度	1,970台
平成30年度	2,252台
増減数	-282台
増減率	-12.5%

イ 瞬間路上駐車実態

総数	2,449台
合法	479台
合法率	19.6%
違法	1,970台
違法率	80.4%

違法駐車	1,970台
乗用車台数	972台
乗用車割合	49.3%
貨物車台数	998台
貨物車割合	50.7%

ウ 重点地区別違法駐車台数の推移



重点地区 内 訳	平井駅 駅前通り	葛西駅 西通り	西葛西駅 南・東通り	小岩駅 フラワーロード	合計
条例制定以前※	43.0	14.0	41.0	59.0	157.0
令和元年平均	-	-	-	2.8	2.8
増減数	-43.0	-14.0	-41.0	-56.2	-154.5
増減率%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-95.3%	-98.8%

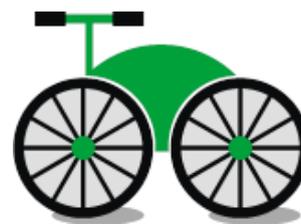
※条例制定以前は、平成4年8月調査時台数

(6) 自転車対策

区内全駅に駐輪場を整備し、駅周辺の駐輪秩序を保持するとともに、放置自転車防止の啓発や撤去活動を通して、利用者に自転車の適正利用を働きかけています。

① 使用料制駐輪場利用状況（一日平均） 令和2年3月末

駅名	駐輪場 (個所)	収容台数 (台)	利用台数 (台)	利用率 (%)
京成小岩	5	1,723	1,019	59.2
平井	4	4,078	3,801	93.2
小岩	4	5,670	4,393	77.5
東大島	1	1,200	371	30.9
船堀	5	4,000	3,770	94.2
一之江	3	4,636	4,420	95.3
瑞江	6	6,820	6,581	96.5
篠崎	2	3,900	3,906	100.2
西葛西	5	6,150	5,449	88.6
葛西	3	9,800	8,425	86.0
葛西臨海公園	2	3,170	2,324	73.3
合計	40	51,147	44,459	86.9



② 放置自転車の撤去

令和2年3月末

駅名	撤去台数	駅名	撤去台数	駅名	撤去台数
京成小岩	421台	船堀	1,285台	西葛西	3,799台
平井	1,651台	一之江	1,149台	葛西	2,104台
小岩	1,714台	瑞江	1,208台	臨海	173台
東大島	70台	篠崎	825台	合計	14,399台

③ キャンペーン等の効果的な取り組み

地域住民との合同啓発活動

○小岩駅北口キャンペーン（毎月20日）… 小岩北口町会・小岩駅前町会商店会

○小岩駅周辺迷惑駐輪パトロール（毎月第二木曜）… 環境を良くする小岩地区協議会

○平井ふれあい道路パトロール（毎月第四木曜）

…平井東自治会、平井中央自治会、平井一丁目南親会、平井一丁目東町会、平井二丁目町会、平井三丁目自榮会、平井四丁目東町会、平井四丁目南町会、平井五丁目協和会

(7) 交通事故防止対策の要望処理状況

区民等からの交通事故防止策の要望に対して、現地調査を行い必要な方策を施しました。

内訳 \ 年度	27	28	29	30	令和元年
注意啓発要望	74件	60件	62件	59件	96件
安全施設要望	184件	148件	149件	135件	162件
合計	258件	208件	211件	194件	258件

(8) 交通安全資器材の交付状況

警察署、交通安全協会等からの要望に基づき、春・秋の交通安全運動等に、随時交通安全用資器材を交付しました。

【資 機 材】

横断幕	9枚	垂れ幕	25枚	ストップマーク	684枚
懸垂幕	1枚	横 幕	53枚		

(9) 交通安全教育の推進

警察署と連携して交通安全教育を推進しました。

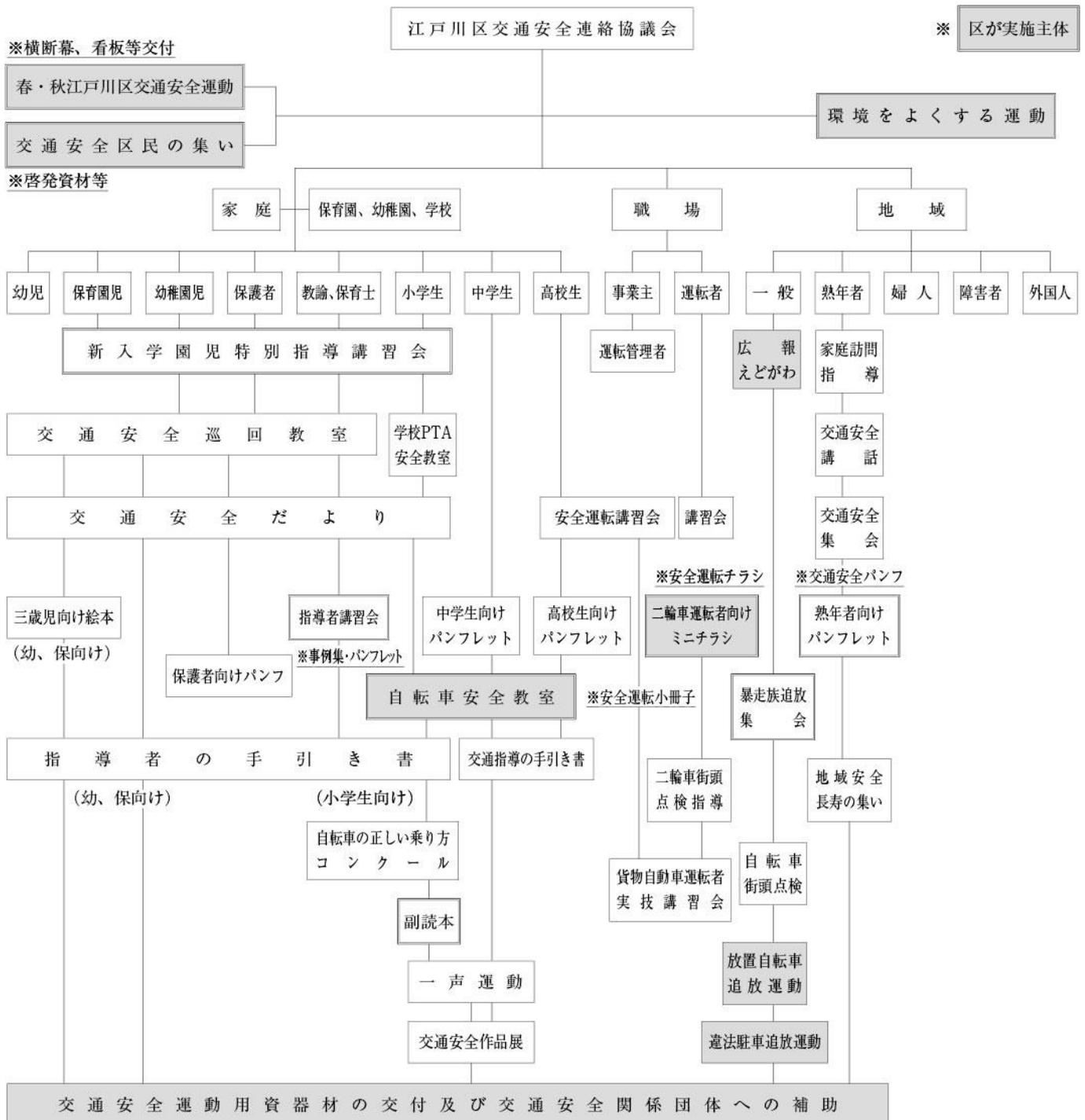
- 自転車運転免許教室の実施 70校 5,713人
- 交通安全教室 62回 8,628人
(中学生・未就学児・保護者・熟年者)

4 交通安全教育の普及徹底と広報活動の充実

交通事故は人が引き起こすものです。それゆえ、区民一人ひとりが交通ルールとマナーを守ることで交通事故の減少を図ることができます。

区では、各警察署、交通安全協会とともに幼稚園・保育園・学校等での交通安全教育、啓発・広報活動を通じて、区民の安全意識の向上に努めてきました。

(1) 交通安全教育の内容と体制



(2) 交通安全教育の基本と事業の推進状況

対象	交通安全教育の基本	実施状況	事業の推進	交通安全施策推進組織
幼児	<div data-bbox="220 286 852 338" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼稚園・保育園における交通安全教室</div> <p>◎日常の中での安全教育及び安全教室</p>	<p>交通安全教室 区 7回 421人 警察 64回 6,492人</p> <div data-bbox="197 533 839 591" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域における交通安全</div>	<p>春・秋運動要領 163枚 ストップマーク 326枚 反射材 3,982個 新入学チラシ 36,000枚 一声運動垂れ幕 38枚 新入学チラシ 820枚</p>	
児童・生徒	<div data-bbox="181 685 810 743" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校における交通安全</div> <p>◎新入学児童の横断歩行指導</p> <p>◎交通安全教室</p> <p>◎自転車の乗り方</p> <p>◎教育課程に位置づけた指導</p> <p>◎交通安全指導者の育成</p> <p>◎地域遊び場での体験学習</p>	<p>学校における交通安全</p> <p>黄色ワッペン (金融機関等提供) 交通安全下敷き (トラック協会提供)</p> <p>交通安全教室(警察) 小学生 109回 21,392人 中学生 4回 150人 高校生 9回 3,099人 保護者 26回 451人 計 148回 25,092人</p> <p>自転車教室(警察) 小学生 136回 22,272人 中学生 20回 7,065人 高校生 6回 1,010人 計 162回 30,347人</p> <p>自転車運転免許教室 70校 5,713人</p> <p>毎月10日は「交通安全の日」 交通安全一声デー</p>	<p>交通安全のまとめ 15冊 春・秋運動要領 114枚 ストップマーク 358枚</p> <p>交通安全運動ポスター 112枚 全国運動垂れ幕 112枚 一声運動垂れ幕 112枚</p> <p>のぼり旗掲出</p>	<p>自転車部会 小松川 7人</p>

対象	交通安全教育の基本	実施状況	事業の推進	交通安全施策推進組織
児童・生徒	地域・家庭における交通安全			
	◎交通安全意識の向上		広報えどがわ掲載 各号 15回	女性部会 小松川 10人 小岩 9人 計 19人
	◎交通安全地域活動	環境をよくする地区活動	中学生に対する自転車交通安全教室（スタントマン） （人）	交通少年団 小松川 68人 葛西 51人 小岩 32人 計 151人
	◎交通安全指導者の育成	交通少年団の育成	5/31(金) 松江第一 671 6/20(木) 松江第五 499 6/25(火) 葛西第二 415 6/27(木) 南葛西 415 7/12(金) 小岩第五 289 8/29(木) 葛西第三 714 9/19(木) 小岩第四 350 10/8(火) 春江 533 11/1(金) 鹿骨 460 11/13(水) 瑞江 373	
	◎春・夏休みの交通安全	広報活動		
	◎環境の良い街づくり	葛西地区暴走族対策連絡会 役員会 5月16日(木) 大会 6月14日(木) 800人参加	合計10校 4,719人	
◎放置自転車の追放	違法駐輪の撤去 14,399台撤去			
	運転者（免許取得者）の交通安全			
	◎安全運転啓発活動	運転者講習会（警察） 34回 2,200人	交通安全のまとめ 232冊 二輪車運転者ミニチラシ 60,000枚	二輪車（原付） 交通安全グループ 小松川 5人
	◎交通事故の責任と賠償	事故防止街頭指導		交通安全協会 小松川 1,786人 葛西 684人 小岩 546人 計 3,016人
	◎二輪車安全運転	二輪車運転者講習会（警察） 28回 427人	広報えどがわ掲載 1回	
◎飲酒運転撲滅	二輪車運転者街頭指導 飲酒運転させない キャンペーン		青年部会 小松川 5人 小岩 8人 計 13人	
	地域・家庭における交通安全			
◎交通安全思想の普及・拡大	広報活動 春・秋・年末交通安全運動 （安協・町会等広報活動 テント拠点 153カ所）	TOKYO交通安全 キャンペーン ポスター 800枚 パンフレット 1,000枚 暴走族追放強化期間ポスター 150枚 リフレクター 100個		

対象	交通安全教育の基本	実施状況	事業の推進	交通安全施策推進組織
成人	◎地域・家庭の参加 ◎環境の改善 ◎民間活力の活用	第30回交通安全区民の集い 9月7日(土) 500人 総合文化センター(小ホール) 環境をよくする地区大会 違反防止重点地域パトロール 地域での違法駐車防止自主活動 鍵かけキャンペーン 5/16(木)～17(金) クリーンキャンペーン 10/22(月)～31(水) トラック協会江戸川支部会 館内交通安全教室	広報えどがわ 掲載 1回 区民の集いプログラム 500枚 ティッシュ 2,700個 ティッシュ 20,000個 ティッシュ 10,000個 リーフレット // ポスター 50枚	地域交通安全活動推進委員 小松川 23人 葛西 29人 小岩 28人 計 80人
	◎安全運転管理者の設置 ◎事業所巡回指導 ◎安全運動講習会 ◎交通安全指導者の育成	事業所における安全教育 管理者講習会(警察) 7回 547人 事業所運転者講習会(警察) 101回 7,240人 正面玄関反射材配布	反射材 420個 チラシ //	安全運転運行部会 小松川 7人 葛西 282人 計 289人
熟年者	◎家庭での話し合い ◎各種行事等での安全教室 ◎事業所・サークルでの啓発活動 ◎保健医療関での安全教育 ◎交通安全指導者の育成	熟年者に対する安全教育 一人暮らし熟年者訪問活動 熟年者の交通安全教室 警察 75回 4,103人 区 9回 358人 熟年者の自転車教室 警察 24回 939人 正面玄関反射材配布	春・秋運動要領 18枚 ・熟年文化祭 チラシ 2,000枚 ティッシュ // 反射材 2,700個 ・笑顔いっぱい長寿の集い チラシ 12,000枚 ティッシュ 16,000個 反射材 420個 チラシ //	保護誘導員 小松川 22人 葛西 20人 小岩 25人 計 67人

(3) 春・秋の全国交通安全運動

① 期間・運動のスローガン・重点等

期 間	春：令和元年 5 月 11 日(土)から 5 月 20 日(日)まで	秋：令和元年 9 月 21 日(土)から 9 月 30 日(月)まで
スローガン	世界一の交通安全都市 TOKYO を目指して	
全国統一 スローガン	やさしさが 走るこの街 この道路	
運動の基本	子供と高齢者の交通事故防止	
重 点	○子供と高齢者の安全な通行の確保と 高齢運転者の交通事故防止 ○自転車の安全利用の推進	○子供と高齢者の安全な通行の確保 ○高齢運転者の交通事故防止
	○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ○飲酒運転の根絶 ○二輪車の交通事故防止（東京都重点）	

② 広報・安全教育・行事等活動状況

		春		秋			
広 報 活 動	啓発活動	区ビデオ広報 区広報えどがわ 各施設啓発館内放送		区ビデオ広報 区広報えどがわ 各施設啓発館内放送			
	ポスター	800 枚		800 枚			
	パンフレット・チラシ等	1,000 枚		1,000 枚			
	垂れ幕・横断幕等	64 枚（警察交付枚数のみ）		10 枚（警察交付枚数のみ）			
交 通 安 全 教 育	学校・保育所等	実施	20 箇所	3,088 人	実施	5 箇所	964 人
	社会教育、福祉施設	実施	0 箇所	0 人	実施	6 箇所	553 人
	その他民間団体	実施	0 箇所	0 人	実施	0 箇所	0 人
	合 計	実施	20 箇所	3,088 人	実施	11 箇所	1,517 人
施 策 ・ 行 事	江戸川区 三警察署・安協	・交通事故防止キャンペーン ・運転者講習会 他		・第 30 回交通安全区民の集い 9 月 7 日（土） 500 人			
	小松川警察署・安協	・二輪車ストップ作戦 ・事故防止キャンペーン 他		・地区別講習会（高齢者他） ・反射材直接貼付 他			
	葛西警察署・安協	・セーフティロード作戦 他 ・シートベルト装着キャンペーン		・セーフティロード作戦 ・二輪車ストップ作戦 他			
	小岩警察署・安協	・二輪車実技教室 ・小岩交通安全の集い 他		・二輪車ストップ作戦 ・二輪車実技大会 他			



IV 交通事故救濟業務

1 救急・救助活動等

江戸川・小岩・葛西消防署は、交通事故等による受傷者の救急活動を行っています。

また、受傷者の救命効果を高めるため、区民に対して応急救護知識・技術の習得を目的とした講習会も行っています。

(1) 交通事故救急出動件数及び救護人員

(人)

年	項目 救急出動回数 (交通事故)	救護 人員	救護人員の内訳					現場 処置
			軽傷	中等傷	重症	重篤	死亡	
令和元年	2,206	1,766	1,638	367	37	14	1	10
30年	2,375	2,265	1,826	384	36	16	3	0

江戸川・小岩・葛西消防署合計

- ※ 軽 傷：簡易で入院を必要としないもの
- 中等傷：生命の危険はないが、入院を必要とするもの
- 重 症：生命の危険が強いと認められるもの
- 重 篤：生命の危険が切迫しているもの
- 死 亡：初診時死亡が確認されたもの

(2) 応急救護知識・技術の講習会受講者

(人)

年\項目	合 計	学校関係	町会自治会	事業所関係	そ の 他
令和元年	22,913	8,817	8,412	4,082	1,602
30年	27,881	10,593	10,432	3,128	3,728

江戸川・小岩・葛西消防署合計

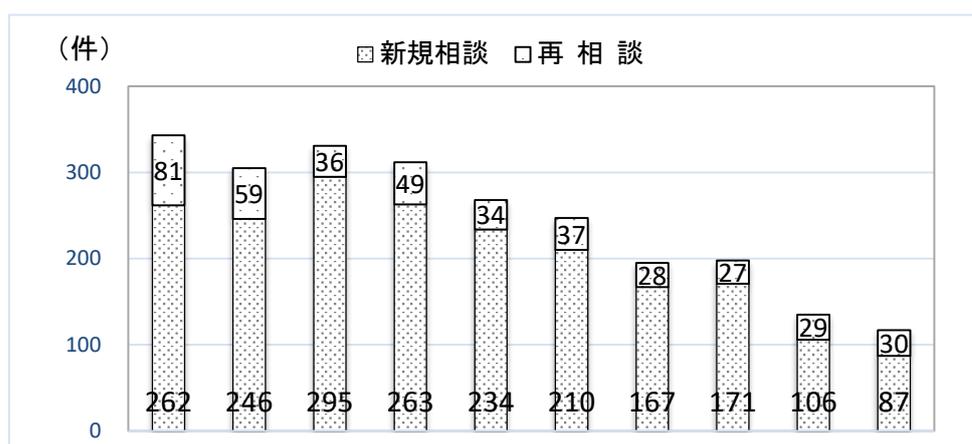
2 交通事故相談の概要

江戸川区は、昭和47年7月から交通事故相談員を常駐させて区民からの交通事故に係る困りごとや疑問に応えています。

相談員は資料や判例を参考に、解決への筋道をわかりやすく相談者に説明指導することにより、円満な解決の援助に努めています。

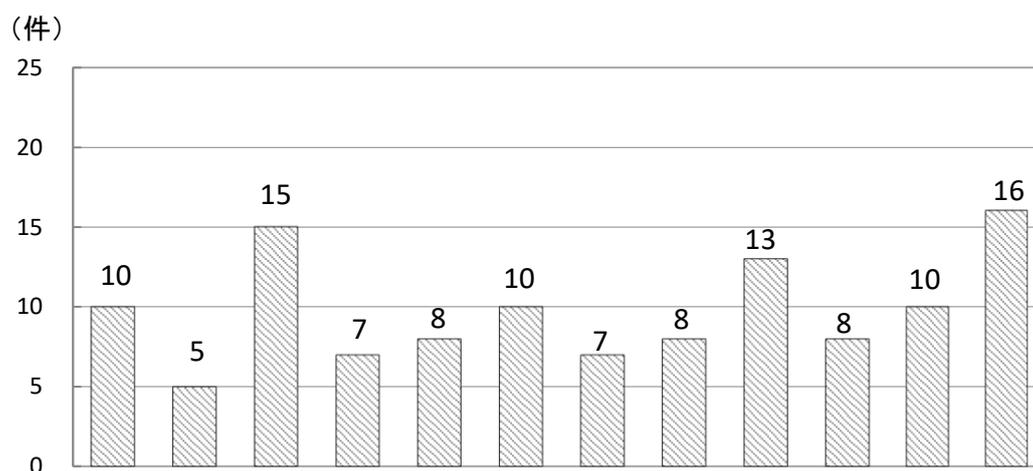
なお、平成9年4月から電話予約制（1日4人受付）を取り入れ、相談に応じています。

(1) 相談件数の年次別推移



種別 / 年次	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
新規相談	262	246	295	263	234	210	167	171	106	87
再相談	81	59	36	49	34	37	28	27	29	30
総数	343	305	331	312	268	247	195	198	135	117

(2) 月別相談件数

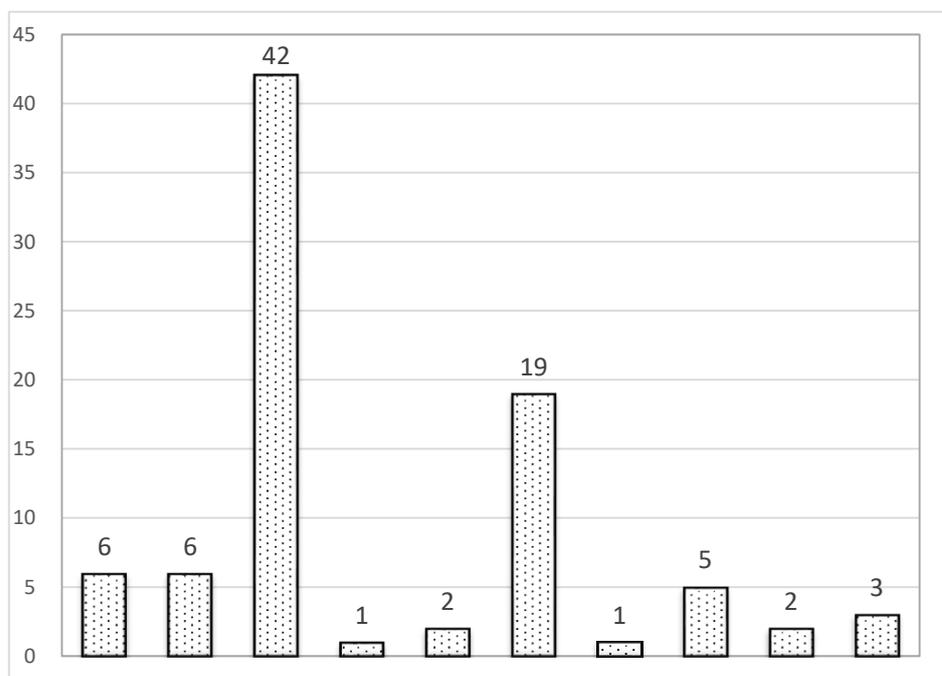


区分 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総数	10	5	15	7	8	10	7	8	13	8	10	16	117
新規相談	8	5	11	6	6	6	7	7	9	7	7	8	87
内 来室	8	4	9	4	5	4	7	6	5	6	6	6	70
内 電話	0	1	2	2	1	2	0	1	4	1	1	2	17
再相談	2	0	4	1	2	4	0	1	4	1	3	8	30
内 来室	2	0	4	1	2	4	0	1	4	0	1	6	25
内 電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5

(3)相談者の内訳

内訳 件数	相談総数	新規相談	再来相談	来室相談	電話相談	加害者	被害者	新規男女別		新規来室(70名内訳)			
								男性	女性	区内在住者	区外在住者	区内事故	区外事故
件数	117	87	30	95	22	36	81	38	49	70	0	53	17
構成率(%)	100.0	74.4	25.6	81.2	18.8	30.8	69.2	43.7	56.3	100.0	0.0	75.7	24.3

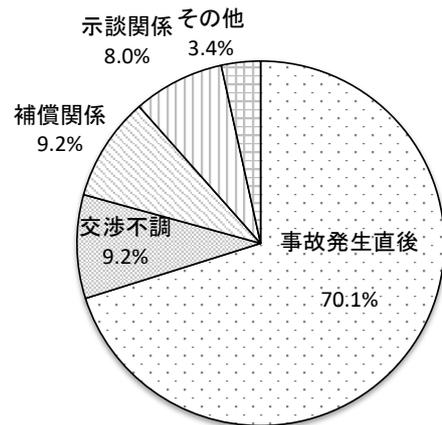
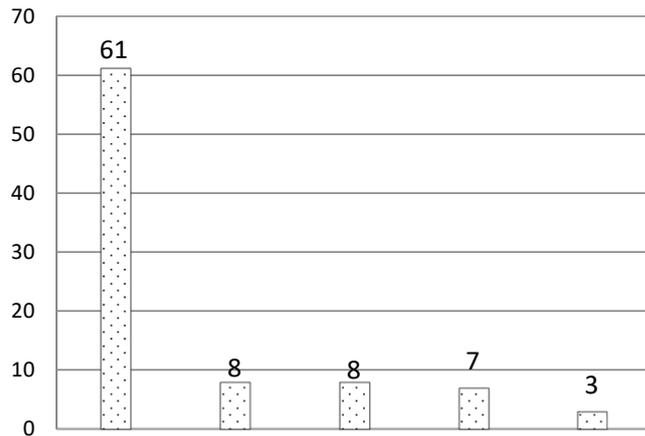
(4)新規相談内容(その1)



内訳 件数	示談について	保険請求について	事故にあったらよいか	誠意がなかったらよいか	どの位支払うべきか	事故を起したらよいか	後遺症について	過失割合について	話し合いに応じない	その他	新規合計
件数	6	6	42	1	2	19	1	5	2	3	87
構成率(%)	6.9	6.9	48.3	1.1	2.3	21.8	1.1	5.7	2.3	3.4	100.0

(5) 新規相談内容(その2)

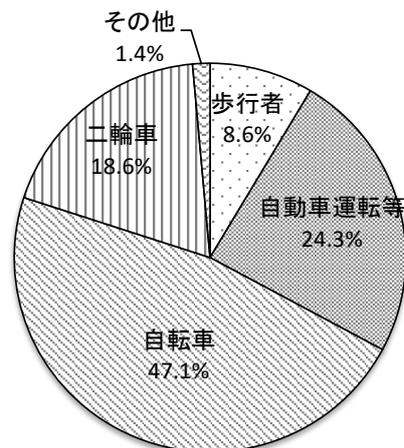
(件)



内容別	事故発生直後	交渉不調	補償関係	示談関係	その他	合計
件数	61	8	8	7	3	87
構成率(%)	70.1	9.2	9.2	8.0	3.4	100.0

(6) 新規来室相談者の当事者別件数

項目 / 内容	件数	構成率
歩行者	6	8.6
自動車運転等	17	24.3
自転車	33	47.1
二輪車	13	18.6
その他	1	1.4
合計	70	100.0



3 区民交通傷害保険

区民交通傷害保険の開始について

1. 目的

区内において、自転車の関与する交通事故が増加傾向にある。また、自転車が加害者となる事故により高額な損害賠償判決が全国的にも相次いでいる。

自転車事故防止に対する意識の向上と被害者の救済や加害者の経済的負担軽減を図ることを目的として「区民交通傷害保険」制度を導入する。

2. 保険期間

令和2年7月1日から令和3年6月30日まで1年間

※申込期間 令和2年5月1日（金）～6月19日（金）

3. 申込資格

区内在住および在勤者・在学者

4. 引受保険会社

損害保険ジャパン(株) ※4月1日より商号変更

5. 申込方法

区の定める金融機関窓口（ゆうちょ銀行・郵便局・銀行等金融機関）

6. 保険コースの種類と保険料：6コース

1,000円（補償額150万円）・1,700円（補償額350万円）・2,900円（補償額600万円）の各コースに+400円で自転車損害賠償1億円

7. 保険の特徴

- ・加入に際しての年齢制限がない
- ・補償に比べ保険料が安価である

8. 主なPR活動

- (1) 区広報掲示板及び町会自治会掲示板にポスター掲示
- (2) 幼稚園・保育園・小中学校及び高校等にポスター掲示
- (3) 各施設へポスター・チラシ・リーフレット配布
- (4) 区ホームページ及び4月20日号「広報えどがわ」等でのPR

加入者数については、来年度発行「令和3年版交通安全のまとめ」にて掲載予定です。



江戸川区にお住まい・お勤め・ご通学の方なら年齢を問わず加入ができます。

この保険は少額の保険料で加入でき、交通事故でケガをしたときに入院や通院治療日数等に応じて保険金を受け取れる制度で、都内14区で実施しています。自転車運転中の加害事故などについて最高1億円まで補償され示談交渉サービスが付帯された「自転車賠償責任プラン」にもあわせて申し込みます。過去には、自転車事故の損害賠償金として約9,500万円の判決事例がありました。

自転車を利用する方は「自転車賠償責任プラン」がセットになったコース（AJ、BJ、CJ）への加入をおすすめします。

ご加入のお手続き

お申込期間	令和2年5月1日(金)から6月19日(金)まで ※上記以降は加入できませんので、ご注意ください。			
申込資格	令和2年7月1日現在、江戸川区に住所のある方および在勤者・在学者			
保険期間	令和2年7月1日(午前0時)から令和3年6月30日(午後12時)まで1年間			
お申込方法	加入申込書に住所、氏名等の必要事項をご記入のうえ下記の金融機関窓口で保険料をお支払いください。 区の定める金融機関 ゆうちょ銀行・郵便局・金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協） ※加入申込書は金融機関窓口でご請求ください。			
一時払保険料 保険金額	コース	補償内容	一時払保険料	最高保険金額
	A	区民交通傷害Aコース	1,000円	150万円
	B	区民交通傷害Bコース	1,700円	350万円
	C	区民交通傷害Cコース	2,900円	600万円
	AJ	区民交通傷害Aコース +自転車賠償プラン	1,400円	150万円(交通傷害) +1億円(自転車賠償)
	BJ	区民交通傷害Bコース +自転車賠償プラン	2,100円	350万円(交通傷害) +1億円(自転車賠償)
	CJ	区民交通傷害Cコース +自転車賠償プラン	3,300円	600万円(交通傷害) +1億円(自転車賠償)

本チラシは、概要のご説明です。詳細につきましては、お問い合わせ先または区ホームページをご照会ください。

【お問い合わせ先】加入手続きについて

江戸川区 土木部施設管理課 交通安全推進係

〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 北棟3階（電話03-5662-1998）
平日午前9時から午後5時まで



〔引受保険会社〕保険内容について

損害保険ジャパン株式会社 東京公務開発部営業開発課

※損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、令和2年4月1日に「損害保険ジャパン株式会社」に商号を変更しました。

〒160-8338 新宿区西新宿1-26-1（電話03-3349-9666）
平日午前9時から午後5時まで

令和 2 年 版
(令和元年交通統計)
交通安全のまとめ

令和 2 年 8 月 発 行
江 戸 川 区 土 木 部
施 設 管 理 課 交 通 安 全 推 進 係

☎ 5662-1998